



平成19年4月16日

各位

会社名 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
 代表者 代表執行役 執行役社長 小野 功
 所在地 東京都品川区東品川4丁目12番7号
 (コード番号 9694 東証第一部)
 問合せ先 CSR本部 広報 IR部長 河内 延 泰
 (電話番号 03-5780-6447[本社事務所])
 当社の親会社 株式会社日立製作所
 (コード番号 6501)

平成19年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年10月30日に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日から平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(1) 連結業績予想の修正 (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年10月30日発表)	158,000	5,900	3,000
今回修正予想(B)	156,000	8,200	3,500
増減額(B-A)	2,000	2,300	500
増減率(%)	1.3%	39.0%	16.7%
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	154,580	5,292	2,350

(2) 個別業績予想の修正 (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年10月30日発表)	153,000	5,500	3,150
今回修正予想(B)	150,000	7,500	3,700
増減額(B-A)	3,000	2,000	550
増減率(%)	2.0%	36.4%	17.5%
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	149,207	5,422	3,022

2. 業績修正の理由

情報サービス産業は、企業収益の改善を背景に銀行、保険などの金融機関や製造業向けを中心にIT投資に対する需要が拡大しております。

こうした中、当社グループは金融向けの基幹業務システムやテレコム向けを中心とした大規模ソフト開発など、基盤事業であるシステム開発が堅調に推移しておりますが、低粗利機器の抑制などによる情報処理機器減少の影響が大きく、売上高は当初予想を下回る見通しであります。

一方、経常利益については、システム開発の売上高拡大、不採算案件の減少、生産性向上・原価低減等により、当初予想に対し大幅に増加する見通しであります。

また、当期純利益については、特別損失に有価証券評価損及び連結子会社ののれん代の一括償却があるものの、当初予想に対し増加する見通しであります。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は予想と異なる場合があります。

以 上